

四國五郎・ガタロ

師弟展

東京・横浜
で連続開催



相生橋 (四國五郎)

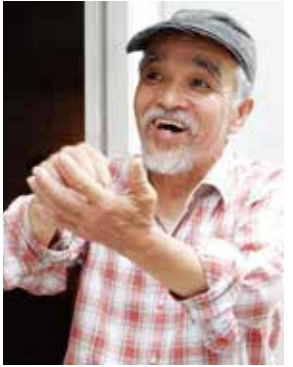
四國五郎 広島県生まれ (1924 ~ 2014)。

画家・詩人。シベリア抑留からの帰還後に弟の被爆死を知り、無念の思いで生涯をかけて反戦・反核、平和の尊さを描き続けた。絵本『おこりじぞう』の表紙挿絵、逮捕を覚悟で「辻詩」を共に作った峠三吉の『原爆詩集』の表紙装画等で知られる。「広島平和美術展」の設立や、NHK「市民が描いた原爆の絵」公募の尽力など後世に遺したものは大きい。



ガタロ

1949年広島県生まれ。基町アパートの清掃員の仕事をしながら絵を描き続ける。NHK『捨てられしものを描き続けて—“清掃員画家”ガタロの30年』で大きな反響を呼ぶ。四國五郎さんを「師」と呼び、親しく交流を続けた。



平和アパートを描く四國五郎先生 (ガタロ)



川を跨ぐ SEALDS (希望) 2016 (ガタロ)

2017年9月23日(土)~10月22日(日)

<10月2日(月)10日(火)16日(月)休廊> **11時半~18時半**

会場：ギャラリー古藤 東京都練馬区栄町9-16

tel: 03-3948-5328

ギャラリートーク mail: fwge7555@mb.infoweb.ne.jp

9月23日(土)17~18時 ガタロ×四國光×永田浩三(武蔵大学教授)

9月24日(日)13~14時 ガタロ×四國光×永田浩三(武蔵大学教授)

9月27日(水)19~20時 アーサー・ピナード「かたる絵と、ガタロの絵」

10月1日(日)15~16時 四國光×木内みどり

10月15日(日)15~16時 二人芝居 ガタリズム

~道具目線で作るガタロ像~ 出演: 綾香詳三×稲元洋平 各定員40名

2017年10月26日(木)~11月26日(日)

<会期中の月曜と火曜はすべて休廊日です> **11時~18時**

会場：スペース ナナ

横浜市青葉区あざみ野 1-21-11 tel: 045-482-6717

mail: event@spacenana.com

ギャラリートーク

10月28日(土)17~18時 ガタロ×永田浩三(武蔵大学教授)

10月29日(日)13~14時 ガタロ×永田浩三

各定員30名

*時間は変更になる可能性があります。

ギャラリートークのご予約は、各会場まで、お電話またはメールで。

主催 四國五郎・ガタロ 師弟展実行委員会

入場料 300円 (小・中・高校生無料)

ギャラリートーク 1000円 (入場料含む)

*トークイベント時は絵のみの鑑賞はできません。



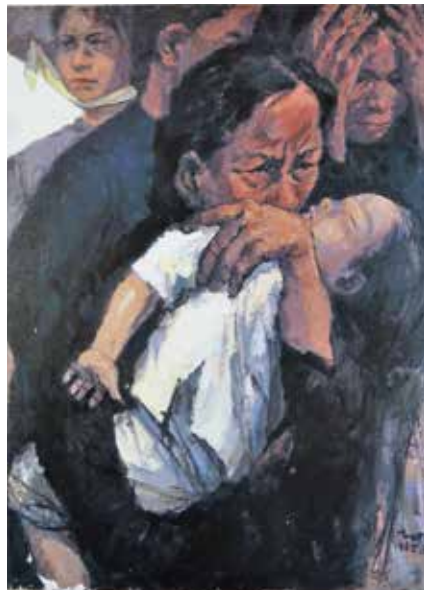
途上の牛 (ガタロ)



黒い雨 (四國五郎)



絵本「おこりじぞう」挿絵 (四國五郎)



ヴェトナムの母子 (四國五郎)



比治山橋 (ガタロ)

峠三吉とともに、あの『原爆詩集』をつくった四國五郎。広島・基町アパートで清掃員をしながら奇跡の絵を描くガタロ。ふたりはヒロシマを描く師弟でした。今回、2014年に大好評をいただいた「ガタロ展」の第2弾として、今回も2か所で『四國五郎・ガタロ師弟展』を開催します。師の四國の作品は、名作「母子像」「黒い雨」「相生橋」、絵本「おこりじぞう」の原画、知られざる「辻詩」など。弟子のガタロは、大作「途上の牛」「母」「清掃の具」、世相批評の連作などを展示します。今回もガタロさん、四國五郎の長男・光さん、アーサー・ビナードさん、木内みどりさんなどの素敵なトークや朗読、パフォーマンスがあります。ぜひお越しください。

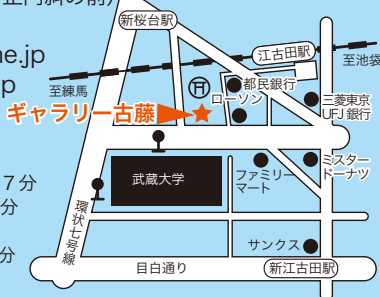
四國五郎・ガタロ 師弟展実行委員会 代表 永田浩三



母 (ガタロ) と本人

古美術&ギャラリー古藤 (ふるとう)

東京都練馬区栄町9-16 (武蔵大学正門斜め前)
tel: 03-3948-5328
mail: fwge7555@mb.infoweb.ne.jp
URL: <http://furuto.art.coocan.jp>



- ・西武池袋線江古田駅南口 徒歩5分
- ・都営大江戸線新江古田駅A2出口 徒歩7分
- ・西武有楽町線新桜台駅2番出口 徒歩6分
- ・関東バス江古田駅バス停 徒歩4分
- ・関東バス・国際興行バス豊玉北バス停 徒歩6分
- ・都営バス武蔵大学バス停 徒歩1分

スペースナナ

横浜市青葉区あざみ野 1-21-11
tel: 045-482-6717
fax: 045-482-6712
mail: event@spacenana.com
URL: <http://spacenana.com>

東急田園都市線
横浜市営地下鉄線
「あざみ野」駅西口徒歩6分

